

財団法人 8020 推進財団 平成22年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録	
1. 事業名	：墨田区 お口の健康運動から 健康な地域づくり II
2. 申請者名	：公益財団法人ライオン歯科衛生研究所 藤重貞慶
3. 実施組織	：公益財団法人ライオン歯科衛生研究所 社団法人東京都向島歯科医師会 東京都本所歯科医師会 墨田区福祉保健部保健衛生担当、すみだ食育 good ネット、住民組織他
4. 事業概要	<p>墨田区をモデル地域として、お口の健康運動から健康な地域づくりを推進するため、「住民」が「あらゆる場面」や「機会」を通じて、歯・口の健康に関する「教育の機会」や「情報」が得られる「地域の環境づくり」を目的に事業を展開した。本年度の主なターゲットは「女性」とし「子育てひろば」、「保育園」、「若年者区民健康診断」、「商店街」の場面で、活動する健康推進者と繋がり協働しながら、以下の通りの事業を推進した。1)子育てひろばの場面では、小さな子どもと一緒に参加しやすい時間設定とし、①女性のライフスタイルと口の中の変化、②歯の役割とむし歯・歯周病、③歯周病と全身疾患との関係、④ケア方法、特に家事で忙しい時のポイントに絞った内容を行なった。2)保育園の場面では、お迎えに併せて、親と子どもが同じ内容の体験を通して、子どものことと同時に自分の歯や口にも関心が持て、健康行動に繋がるプログラムを考案し実施した。3)若年者区民健康診断の場面は、歯の健康について関心を高めるきっかけに繋げるプログラムとして、①歯周病と女性の健康との関係についての情報提供、②歯みがき時の出血の有無、「昼食後の歯みがき」のセルフチェック、③「唾液中潜血試験」、「吐出液の濁度測定」、④②③の結果に基づいた相談とアドバイスを行なう内容を実施した。4)商店街の場面では、「あなたの元気度チェック」とし、「歯の健康度」、「メタボ度」、「骨の元気度」に分類し、各分類のセルフチェック項目と検査項目を組み込んだ内容を実施した。今後は、実施した各施策（プログラム）ごとに多様な場面に応じて改善し、プログラムの有効性の確認等について、協働してきた健康推進者と共に推進していきたい。</p>
5. 事業の内容：	<p>「地域の環境づくり」を推進するための手段の一つとして、地域の健康推進者と繋がり、協働していくことが重要であると考え、昨年と同様に地域の保健行政を司る墨田区福祉保健部保健衛生担当を窓口とし、昨年繋がりを持つことが出来た、保育士・助産師・管理栄養士等の関係者とも連携し推進することとした。本年度の主なターゲットは「女性」とした。その理由として、女性はライフサイクルの中で、妊娠・出産、更年期、骨粗鬆症等の体の変化が男性と比較すると明らかであり、またその変化に歯・口が関連している。またコミュニティの最小単位は「家庭」であり、家庭の生活や健康管理は、主に女性が担っていることが多く、女性の口の健康に関する環境づくりの推進が、家族（子ども、夫、同居者）などの多くの人々に影響を与えると考えた。女性でも特に子育て中または仕事を持つ20歳代～40歳代とし、参加利用しやすいことに重点を置き、「集めて行なう」ではなく、「集う場所で行なう」活動とした。具体的な活動場面としては「子育てひろば」、「保育園」、「若年者区民健康診断」、「商店街」の場で展開した。</p> <p>1)子育てひろばの場面では、小さな子どもと一緒に参加しやすいように時間を30分とし、内容は①女性のライフスタイルと口の中の変化、②歯の役割とむし歯・歯周病、③歯周病と全身疾患との関係、④ケア方法、特に家事で忙しい時のポイントに絞って行なった。参加者から評価は高く、「気をつけようと思うきっかけになった」、「子どもと一緒に参加できる会で良かった」、「子ども達だけでなく、このような大人に対する講座もあると良い」等のコメントがあった。</p> <p>2)保育園の場面では、お迎えに併せて、親と子どもが同じ内容の体験を通して、子どものことと同時に自分の口にも関心が持て、健康行動につながるプログラムを考案し実施した。内容は、「歯みがき回数チェック」、「RDテスト」、さらに口腔内カメラ「MIHARU」を活用した自身による口腔内環境の把握とした。こうした取り組みは、これから健康のために生活習慣を確立していく園児を持つ母親には必要であり、内容・時間等に関して更に検討し、今後同様の他の場面で展開していく予定である。</p> <p>3)若年者区民健康診断の場面では、歯の健康について関心を高めるきっかけに繋げるプログラムとして、①歯周病と女性の健康との関係等についての情報提供、②「歯みがき時の出血の有無」、「昼食後の歯みがき」のセルフチェック、③客観的な検査データとしての「唾液中潜血試験」、「吐出液の濁度測定」、④②③の結果に基づいた相談とアドバイスを行なう内容を実施した。健康に関心が高まる健康診断の場に、歯科に関する項目を組み込むことは効果的であるため、今後継続的に実施できる内容を更に検討し、提案していきたい。</p> <p>4)商店街の場面では、「あなたの元気度チェック」とし、「歯の健康度」、「メタボ度」、「骨の元気度」に分類し、各分類ごとに5種のセルフチェック項目と検査項目を組み込んだ内容を実施した。参加者の殆どが女性ではあったが、その多くが70歳以上の高齢者であり、当初の狙いとは異なる参加者となった。しかしながら、人が集う場所であり、今後対象と提供する内容を十分に考慮することで、健康に関わる環境づくりを効果的に実施できる場所であると考えた。</p>
6. 実施後の評価（今後の課題）：	<p>1) 今回実施した施策（プログラム）の効果を確認すること 2) 新たな「場面」や「対象」に対しての環境づくりの推進</p>